

2026年6月29日

各位

株式会社スペース
代表取締役社長 庄村 香史

不正アクセスによる フィッシングメール送信に関するお詫びとご報告

このたび、当社社員1名のメールアドレスが第三者により不正に利用され、当該アカウントからフィッシングメールが送信される事案（以下、本件）が発生いたしました。本件により、お取引先様をはじめ関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。なお、現時点において、本件に起因する情報漏えいや不正利用等の二次被害は確認されておりません。当社は、引き続き必要な対応を行うとともに、再発防止に向けた対策を進めてまいります。

記

1. 本件発覚の経緯および概要

2026年6月9日、当社社員が取引先を装ったフィッシングメールを受信し、当該メールに記載されたリンク先の偽サイトにおいて、メールアドレスの認証情報を入力いたしました。その後、当該アカウントに対する第三者による不正アクセスが発生し、2026年6月15日、当該アカウントを利用して、お取引先様を含む複数の宛先に対し、フィッシングメールが送信されたことを確認しております。

2. 本件の原因

フィッシングメールにより誘導された偽サイトにおいて、当社社員がメールアドレスの認証情報（メールアドレスおよびパスワード）を入力したことにより、当該認証情報が第三者に把握され、当該アカウントが不正に利用されたことが原因です。

3. 本件に関する対応

本件発覚後、以下の対応を実施いたしました。

【2026年6月15日】

- 対象アカウントの無効化およびパスワード変更
- 不正に利用された外部サービスの停止
- 当該アカウントからフィッシングメールが配信された関係先への注意喚起
- 当該メールアドレスの変更

【2026年6月17日】

- ・端末のフォレンジック調査
- ・個人情報保護委員会への必要な報告を実施

4. 影響範囲

現時点で確認している影響範囲は以下のとおりです。

- ・当該アカウントから送信されたフィッシングメールの送信先：2,329件（宛先総数）
- ・当社システム内の情報漏えい：現時点で確認されておりません
- ・本件に起因する二次被害：現時点で確認されておりません

5. 再発防止策

当社は本件を厳粛に受け止め、以下の再発防止策を実施しております。

【実施済み】

- ・メールアカウントにおける多要素認証（MFA）の全社導入
- ・全社員のパスワードリセットの実施

【実施予定】

- ・セキュリティ意識向上のための全社員研修
- ・不審メール対策および監視体制の強化

当社は、再発防止策を着実に実施するとともに、情報セキュリティ管理体制の一層の強化に取り組んでまいります。

6. ご注意いただきたい事項

なお、当該アカウントについては既に無効化等の対応を完了しております。そのうえで、本件に関連して、既に送信された不審なメール、または当社社員を装った不審なメールを受信された場合は、添付ファイルの開封や本文中のリンクへのアクセス、認証情報の入力を行わず、速やかに削除いただきますようお願い申し上げます。

【本件に関する問い合わせ】

株式会社スペース 経営統括本部
デジタル推進室 室長 橋本 兼一
メールアドレス：security@space-tokyo.co.jp